



ワクワク、ドキドキのはちみつ搾り



はちみつの収穫祭が11月27日、具志頭幼稚園で行われました。通園バス運転手の町田実さんがはちみつ搾りを園児たちに体験してほしいと企画されたものです。安全確保のために町田さんがガラス越しに巣箱の中の様子を見せ蜂の生態などを園児たちに説明。その後、遊戯室に移動し、手回し搾り器ではちみつを搾りました。取れたのはちみつをクラッカーにたっぷり塗ってあげると「ホットケーキ作りたい」「はちみつジュースにしたい」と園児たちは夢を膨らませ、笑顔がいっぱいのはちみつ搾りでした。また、後日には、このはちみつを使ってホットケーキ作りを楽しみました。

全国高校総体 設立総会が開催

平成22年度沖縄県で全国高等学校総合体育大会が行われることを受けて同大会の八重瀬町実行委員会設立総会及び第1回総会が11月21日、具志頭改善センターで行われました。

八重瀬町は、ウェイトリフティングとハンドボール（女子）の主会場となっています。総会では、大会の開催準備と運営に万全を期すために議員さんや区長さん、老人連合会、婦人会など各種団体103人に委嘱状が交付され多くの関係者に協力を呼びかけました。



世名城ジャイアンツ祝賀会開催

第16回九州選抜学童軟式野球大会優勝と文部科学大臣賞を受賞した世名城ジャイアンツが日頃お世話になっている地域の人たちに感謝を込めて祝賀会を11月29日東風平改善センターで開催しました。学校関係者や世名城ジャイアンツOB、世名城区民など約200人が招待され行われた祝賀会は、各団体の代表から激励の言葉や歴代卒業生などから謝辞などの言葉が贈られ参加者全員が世名城ジャイアンツの九州大会優勝と名誉ある文部科学大臣賞の受賞を祝いました。



三館の交流を目的にキンボール大会



具志頭・高良・友寄にある児童館の交流を図ろうと「三館合同キンボール大会」が12月6日東風平運動公園で開催されました。町内の体育指導員がボランティアとして協力することでスムーズに競技を進行することができました。大会は、児童館に通う1年生から6年生の男女混合にしたチーム編成を行い学年や性別に隔てなく交流を深めました。参加した児童は「すごく面白かった。次回もぜひ参加したい」と楽しんだ様子でした。



飲酒運転防止を呼びかける

平成19年、居住地域別飲酒運転検挙者数で八重瀬町が県内ワースト4位という現状を受け、飲酒運転による事件・事故を防止するために飲酒運転根絶運動が12月9日行われました。この日は、中村町長をはじめ役場関係者や糸満警察署の職員などを3つの班に分け町内にある居酒屋を訪問。チラシやステッカーなどを配布し、車を運転するお客さんにお酒を勧めないよう呼びかけ、飲酒運転防止に理解を求めました。

八重瀬公園をクリーンアップ

「第3回やえせ桜まつり」が2月7日、8日に開催されるにあたって八重瀬公園内の清掃活動が12月9日、八重瀬公園内で行われました。八重瀬公園は南部の桜の名所として定着しつつあり、訪れる行楽者の方に花見を楽しんでもらおうと清掃活動を実施。この日は、商工会建設工業部会や自衛隊（八重瀬分頓地）をはじめ八重瀬さくらの会、富盛区民、県土地改良連合会、役場関係者など総勢約220名が参加し公園内周辺の草刈りやさくらの植え付け、肥料入れなどを行いさくら祭りに備えました。



芋掘りで親子の絆を深める

字仲座の豊かな田園風景を眺めながら行う芋掘り体験事業（主催：社会福祉協議会）が11月23日ぐしちゃんいも生産組合の東江隆雄さんの農場において行われました。赤い羽根募金の配分金を受け、社会福祉協議会が主催している芋掘り体験事業は、今回で5回目。東風平、伊覇、屋宜原地区の子ども会から親子21組63人が参加し、軍手とスコップを手に芋掘りを楽しみました。



庭いっぱい ブーゲンビリア

10月下旬から11月初旬、秋の深まりとともに涼しくなりはじめたこの季節になると字具志頭の伊福寿夫さんの家の庭には、色とりどりのブーゲンビリアが咲きはじめます。育てはじめて約30年になるという伊福さんは、庭いっぱいには広がるブーゲンビリアを道行く人に見てもらいたいと約20種類以上のブーゲンビリアを門の入り口から玄関先まで植木鉢にいれ並べています。花が咲き誇るこの季節、学校登下校中の学生や近所の人たちが足をとめ伊福さんが育てた花を眺めている光景が見られました。